NYマーケットレポート(2013 年 6 月 27 日)

昨晩の NY 外国為替市場は、序盤に発表された米雇用関連の経済指標が、予想ほど改善しなかったことから、ドル円・クロス円は一時急落する場面がありましたが、同時に発表された消費者関連や、その後に発表された住宅関連の経済指標が市場予想を上回る結果となったことから堅調な動きとなりました。また、株価が引き続き上昇したことも支援材料となりました。ただ、米金融当局者が「経済の成長ペースが金融当局の予想を下回った場合は、資産購入プログラムを延長する可能性がある」と述べたことから、やや上値の重い動きとなりました。また、英ポンドは、1-3 月期の英国の可処分所得が 25 年ぶりの大幅減少となったことが嫌気され、NY 市場でも主要通貨に対して上値の重い動きが続きました。

2013/6/27（木）

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	98.17	98.19	97.57
EUR/JPY	127.98	128.10	127.04
GBP/JPY	150.49	150.62	149.53
AUD/JPY	91.42	91.51	90.60
EUR/USD	1.3037	1.3042	1.3004

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	98.28	98.00
EUR/JPY	128.04	127.65
GBP/JPY	150.52	149.70
AUD/JPY	91.53	91.04
EUR/USD	1.3044	1.3012

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	98.31	98.58	97.81
EUR/JPY	128.18	128.38	127.44
GBP/JPY	150.02	150.17	149.36
AUD/JPY	91.26	91.65	91.05
NZD/JPY	76.66	77.14	76.38
EUR/USD	1.3041	1.3056	1.3000
AUD/USD	0.9284	0.9331	0.9262

米主要株	終値	前日比
米ダウ平均	15024.49	+114.35
S&P500	1613.20	+9.94
NASDAQ	3401.86	+25.64
その他主要株	終値	前日比
トロント総合	12005.78	+53.88
ボルサ指数	39650.75	+845.48
ボベスパ指数	47500.65	+328.67

6/28 経済指標スケジュール

08:01 【英】6月GFK消費者信頼感調査
08:30 【日】5月全国消費者物価指数
08:30 【日】5月失業率・5月有効求人倍率
08:50 【日】5月鉱工業生産
14:00 【日】5月住宅着工戸数・5月建設工事受注
15:00 【独】5月小売売上高指数
15:45 【仏】5月消費者支出・5月生産者物価指数
16:00 【ポーランド】5月貿易収支
16:00 【スイス】6月KOF先行指数
17:00 【ノルウェー】6月失業率
21:00 【独】6月消費者物価指数
21:00 【南ア】5月財政収支
21:00 【南ア】5月貿易収支
21:30 【カナダ】4月GDP
22:00 【米】6月ミルウォーキー購買部協会景気指数
22:45 【米】6月シカゴ購買部協会景気指数
22:55 【米】6月ミシガン大学消費者信頼感指数

主要会議・講演・その他予定

・EU首脳会議

欧州主要株	終値	前日比
英FT100	6243.40	+77.79
仏CAC40	3762.19	+36.15
独DAX	7990.75	+49.76
ST欧州600	286.42	+1.88

コモディティー	終値	前日比
NY GOLD	1211.60	-18.20
NY 原油	97.05	+1.55
CMEコーン	667.25	+2.75
CBOT 大豆	1548.50	+14.25

米国債利回り	本　日	前　日
2年債	0.36%	0.38%
3年債	0.64%	0.68%
5年債	1.38%	1.42%
7年債	1.90%	1.96%
10年債	2.47%	2.54%
30年債	3.54%	3.58%

（出所：ブルームバーグ）

NY 市場レポート

21:00
ドル/円　98.16　　ユーロ/円　127.95　　ユーロ/ドル　1.3038

21:00
欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6190.91	+25.43	ダウ INDEX FUTURE	14887	+63
仏 CAC40	3737.32	+8.28	S&P500 FUTURE	1604.30	+8.80
独 DAX	7955.35	+14.36	NASDAQ FUTURE	2897.75	+14.75

（出所：ブルームバーグ）

21：30
≪ 経済指標の結果 ≫
・新規失業保険申請件数　34.6 万件（予想　34.5 万件・前回　35.5 万件）前回発表の 35.4 万件から 35.5 万件に修正
・失業保険継続受給者数　296.5 万人（予想　295.3 万人・前回　296.6 万人）前回発表の 295.1 万人から 296.6 万人に修正

（出所：ブルームバーグ）

（出所：ブルームバーグ）

指標結果データ

≪米 GDP≫

申請件数・・・前週比・・4 週移動平均・・・・受給者数・・・・・・・受給者比率

13/06/22・・・346,000・・・−9,000・・・・・・345,750・・・・・・＊＊＊＊＊＊・・・・・＊＊＊

13/06/15・・・355,000・・・+19,000・・・・・348,500・・・・・・2,965.000・・・・・・・2.3%

13/06/08・・・336,000・・・−10,000・・・・・345,750・・・・・・2,966,000・・・・・・・2.3%

13/06/01・・・346,000・・・−11,000・・・・・352,500・・・・・・2,991,000・・・・・・・2.3%

13/05/25・・・357,000・・・+13,000・・・・・348,000・・・・・・2,971,000・・・・・・・2.3%

13/05/18・・・344,000・・・−19,000・・・・・340,000・・・・・・2,986,000・・・・・・・2.3%

13/05/11・・・363,000・・・+35,000・・・・・340,000・・・・・・2,923,000・・・・・・・2.3%

13/05/04・・・328,000・・・ +1,000・・・・・338,000・・・・・・3,024,000・・・・・・・2.3%

受給者数は集計が 1 週間遅れる

21:30

≪ 経済指標の結果 ≫

・5 月米個人所得（前月比） 0.5%（予想 0.2%・前回 0.1%）前回発表の 0.0%から 0.1%に修正

・5 月米個人支出（前月比） 0.3%（予想 0.3%・前回 −0.3%）前回発表の−0.2%から−0.3%に修正

（出所：ブルームバーグ）

指標結果データ

≪米個人所得・支出≫

	5 月	4 月	3 月	2 月	1 月	12 月
個人所得	0.5	0.1	0.2	1.2	−4.4	3.0
賃金・給与	0.3	0.1	0.2	0.7	−2.4	1.5
可処分所得	0.5	0.1	0.2	1.2	−5.1	3.1
個人消費支出	0.3	−0.3	0.2	0.7	0.1	0.2
個人貯蓄率	3.2	3.0	2.6	2.6	2.2	7.4

21:30

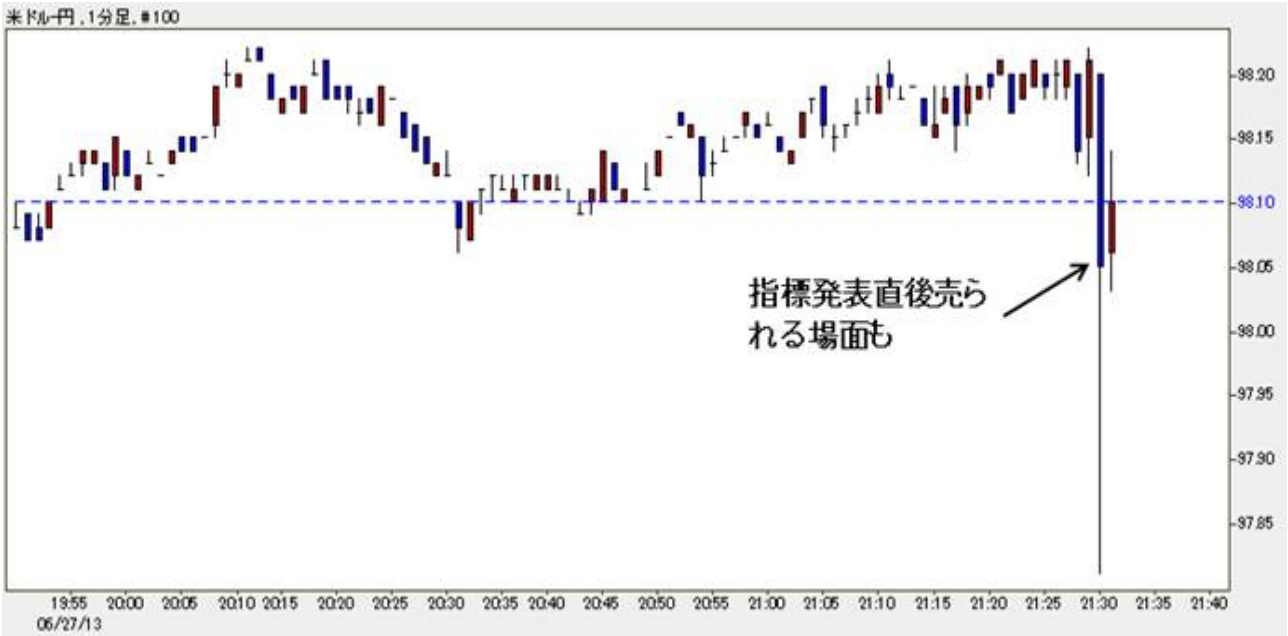
≪ 経済指標の結果 ≫

・5 月米 PCE デフレーター（前年比） 1.0%（予想 1.1%・前回 0.7%）

・5 月米 PCE コア・デフレーター（前月比） 0.1%（予想 0.1%・前回 0.0%）

・5 月米 PCE コア・デフレーター（前年比） 1.1%（予想 1.1%・前回 1.1%）

（出所：ブルームバーグ）



（出所：ネットダニア）

22：05
米フォード
・「日本による円操作、貿易交渉で議論するべきだ」

22：33
米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	15013.15	+103.01
ナスダック	3397.48	+21.26

（出所：ブルームバーグ）

23：00
≪ 経済指標の結果 ≫
・5 月米中古住宅販売成約（前月比） 6.7%（予想 1.0%・前回 −0.5%）前回発表の 0.3%から−0.5%に修正
・5 月米中古住宅販売成約（前年比） 12.5%（予想 8.3%・前回 12.9%）前回発表の 13.9%から12.9%に修正

(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

≪中古住宅販売成約≫

	5 月	4 月	3 月	2 月	1 月	12 月
全米	6.7	−0.5	1.5	−1.0	3.8	−1.9
北東部	0.0	11.5	0.0	−2.5	8.3	−3.3
中西部	10.2	1.0	0.3	0.3	2.7	0.3
南部	2.8	−1.7	3.1	−1.9	5.8	−2.8
西部	16.0	−7.6	1.0	0.1	−0.7	−1.9

(前月比%)

	5 月	4 月	3 月	2 月	1 月	12 月
全米	12.5	12.9	5.9	4.3	9.6	4.7
北東部	15.4	21.5	5.5	3.0	10.2	6.5
中西部	21.7	16.1	12.4	9.8	15.9	10.8
南部	11.0	14.5	9.3	6.6	13.2	8.4
西部	2.8	−1.9	−7.5	−5.9	−0.4	−6.7

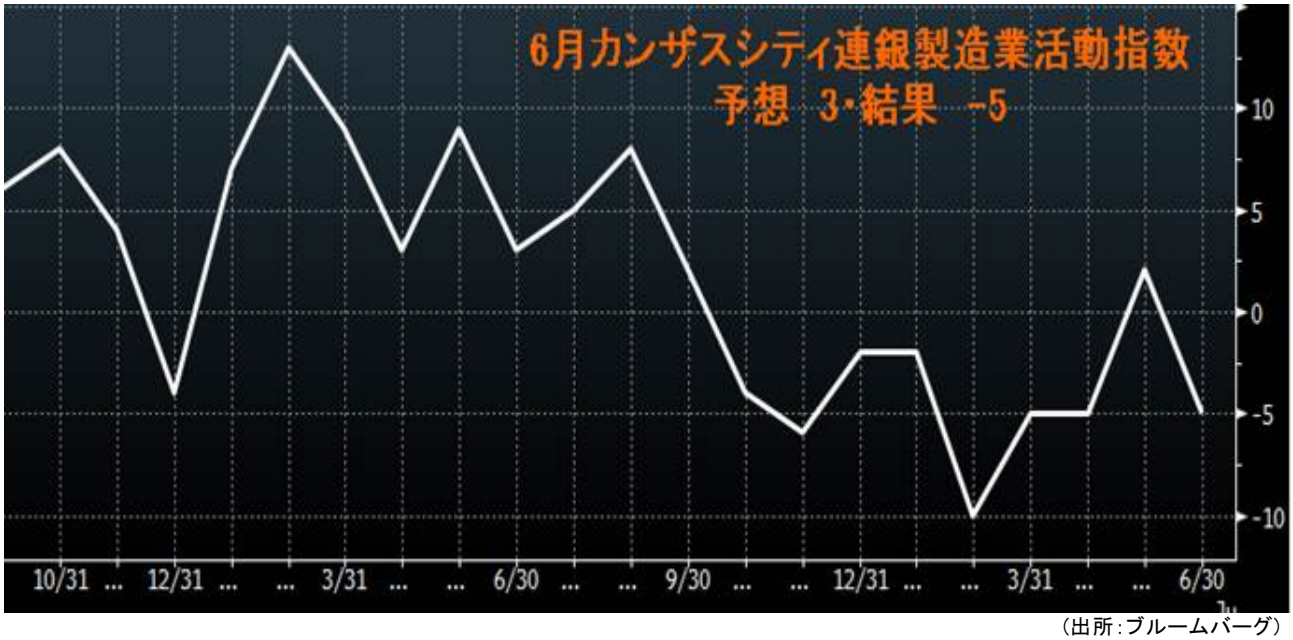
（前年比%）

23:05
≪ 要人発言 ≫
ダドリーNY連銀総裁
・「来年上期に資産購入の慎重な縮小を開始も」
・「資産購入を縮小した後も緩和は継続」
・「経済は FOMC 予測から大きくかい離する可能性」
・「FRB は大半の資産を長期保持するだろう」

23:30
≪ NY 株式市場 序盤≫
序盤の株式市場は、失業保険申請件数が前週比で減少したことを背景に、米雇用環境の改善期待が拡大し、主要株価は堅調な動きとなった。また、日経平均株価や欧州主要株価が堅調な動きとなったことも支援材料となった。ダウ平均株価は堅調な展開で始まり、一時前日比148ドル高まで上昇している。

23:35
≪ 要人発言 ≫
パウエル米 FRB 理事～講演
・「年内に資産購入の縮小開始する可能性も」
・「資産購入はある程度の期間継続へ」

0:00
≪ 経済指標の結果 ≫
・6 月カンザスシティ連銀製造業活動指数 −5（予想 3・前回 2）



（出所：ブルームバーグ）

≪ 経済指標のポイント ≫

(1)米失業保険申請件数は、前週比-0.9 万件の 34.6 万件と、6 月 8 日までの週以来の低い水準となった。申請件数の 4 週移動平均は、前週比-2750 人の 34 万 5750 人で、6 月 8 日までの週以来の低水準となった。また、集計が 1 週遅れる失業保険受給者数は、前週比-0.1 万人の 296.5 万人。5 月 11 日までの週以来の低い水準となった。受給者総数の 4 週移動平均は、前週比-9250 人の 297 万 3250 人で、6 月 1 日までの週以来の低水準となった。受給者比率は、前週から横ばいの 2. 3%だった。

(2)5 月の米個人消費支出は、前月比+0.3%と前月の減少からプラスに転じ、2 月以来 3 ヵ月ぶりの高い伸びとなった。また、個人所得も+0.5%と伸び率が 3 ヵ月ぶりの大きさとなった。

①個人消費では、自動車や家具などの耐久財が+0.9%と 5 ヵ月ぶりに高く、食品やエネルギーなどの非耐久財は+0.3%と 3 カ月ぶりのプラス、サービスは+0.1%となった。税金の支払いなどを除いた可処分所得は、+0.5%となり、貯蓄率は 3.2%となった。

②FRB が物価安定の目安とする個人消費支出(PCE)物価指数は、前年同月比で+1.0%と、インフレ目標の 2%を引き続き下回った。変動の激しい食品とエネルギーを除いた PCE コア物価指数は+1.1%となった。

③米経済は連邦歳出の強制削減をめぐる先行き懸念が根強いものの、個人消費は一時的な落ち込みがあっても緩やかな景気回復と雇用改善に支えられて比較的安定している。

(3)NAR(全米不動産業者協会)が発表した 5 月の中古住宅販売成約指数は、前月比+6.7%の 112.3(2001 年=100)と、2006 年 12 月以来 6 年 5 ヵ月ぶりの高水準となった。前年同月比は+12.1%となり、25 ヵ月連続で前年同月水準を上回った。

①地域別では、中西部が+10.2%、西部が+16.0%、南部が+2.8%となったが、北東部は横ばいだった。

②住宅ローン金利が上昇する前に、融資を好条件で利用できる現在の状況で恩恵を受けようとした 購入者が契約を交わしていることも上昇の要因にある。

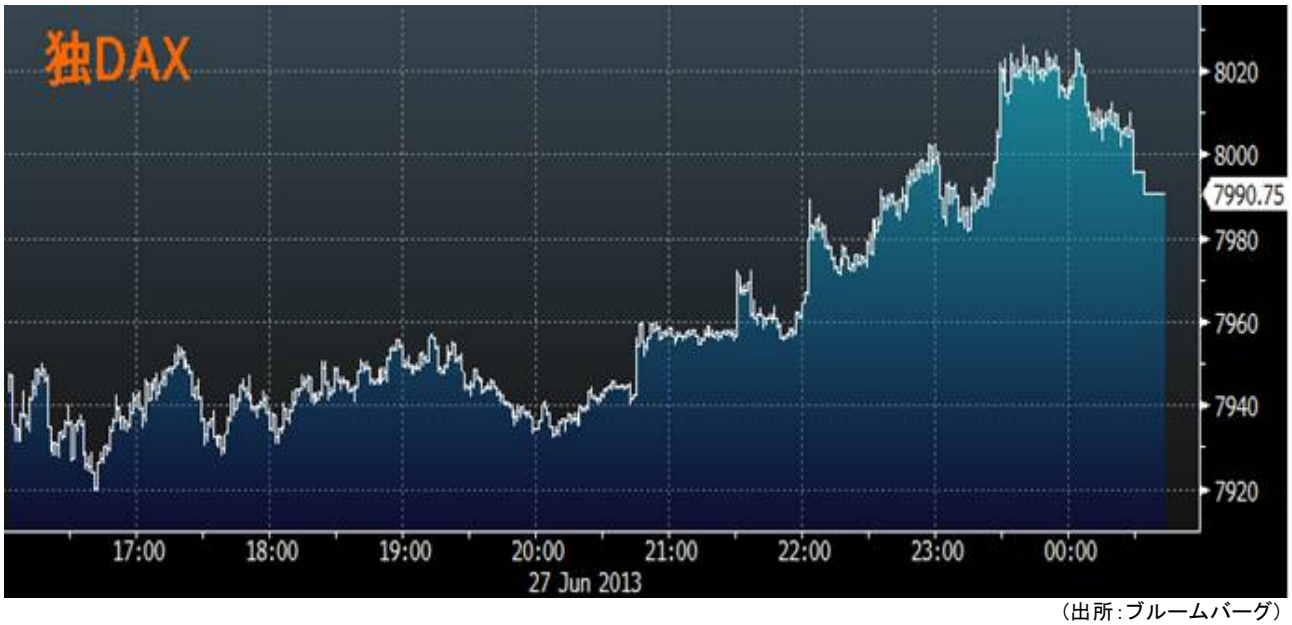
③仮契約は通常 1-2 ヵ月以内に本契約に移行するため、NAR の仮契約指数は中古住宅市場の先行指数とされる。

欧州主要株	終値	前日比
英 FT100	6243.40	+77.79
仏 CAC40	3762.19	+36.15
独 DAX	7990.75	+49.76
ストック欧州 600 指数	286.42	+1.88
ユーロファースト 300 指数	1157.42	+7.71
スペイン IBEX35 指数	7844.40	+21.40
イタリア FTSE MIB 指数	15430.47	67.59
南ア アフリカ全株指数	39083.31	+137.24

（出所：ブルームバーグ）

≪欧州株式市場≫

欧州株式市場は、ドイツの雇用統計が改善したことや、米国の個人消費や雇用関連などの経済指標が軒並み改善したことを受けて、主要株価は堅調な動きとなり、3 営業日続伸となった。



（出所：ブルームバーグ）

1：00

米主要株価・中盤

ダウ 15040.86（+130.72）、 S&P500 1616.33（+13.07）、 ナスダック 3407.22（+31.01）

≪欧州のポイント≫

①EU 欧州委員会が発表した 6 月のユーロ圏景況感指数は 91.3 と、先月の 89.5 を上回り、域内経済がユーロ発足以降最長のリセッションから脱却しつつある兆候が増えた。また、6 月のユーロ圏製造業景況感指数は−11.2（前月−13.0）と前月から改善したものの、サービス業の指数は−9.5（前月−9.2）と悪化した。また、6 月の消費者信頼感指数改定値は−18.8（前月−21.9）となった。

②アイルランド経済は、2013 年 1-3 月に前期比で-0.6%のマイナス成長となり、昨年 10-12 月期 GDP は、前期比-0.2%に下方修正された。これに伴い通年の成長率も+0.2%となり、これまでの見積もりの+0.9%から引き下げられた。
③英政府統計局が発表した第 1 四半期の GDP 確定値は、前期比+0.3%とプラス成長に回復したものの、家計の実質可処分所得が前期比-1.7%となり、1987 年以来 25 年ぶりの大幅減少となった。そして、2012 年第 1 四半期 GDP を上方修正しており、リセッション(2 四半期以上連続のマイナス成長)に英国が昨年は陥らなかったことが明らかになった。今年 1-3 月にプラス成長に回復した英経済には、力強さを増している兆候がやや出ているものの、賃金上昇率を上回るインフレ率と政府の歳出削減が家計を引き続き圧迫している。

0:35
≪ 要人発言 ≫
ロックハート・アトランタ連銀総裁～講演
・「統計次第で 2015 年に利上げの可能性も」
・「バーナンキ議長の意思、市場は誤解した可能性」

≪ NY 債券市場 ・午前≫
・午前の債券市場は、米量的緩和 の早期縮小観測が後退するとともに最近の相場急落で値頃感も広がって買いが先行、利 回りが低下した。ただ、5 月の米中古住宅販売仮契約指数の大幅改善をきっかけに売りが出る場面もあり、上値は限定的となった。
・午前の利回りは、30 年債が 3.56%(前日 3.58%)、10 年債が 2.51%(2.54%)、7 年債が 1.94%(1.96%)、5 年債が 1.42%(1.42%)、3 年債が 0.67%(0.68%)、
2 年債が 0.37%(0.38%)。

2:00
≪米財務省 7 年債入札≫
最高落札利回り・・・・・・・1.932%(前回 1.496%)
最低応札利回り・・・・・・・1.835%(前回 1.422%)
最高利回り落札比率・・・2.95%(前回 73.98%)
応札倍率・・・・・・・・・・・・2.61 倍(前回 2.70 倍)

3:40
NY 金は、中心限月が前日比 18.20 ドル安の 1 オンス＝1211.60 ドルで取引を終了した。

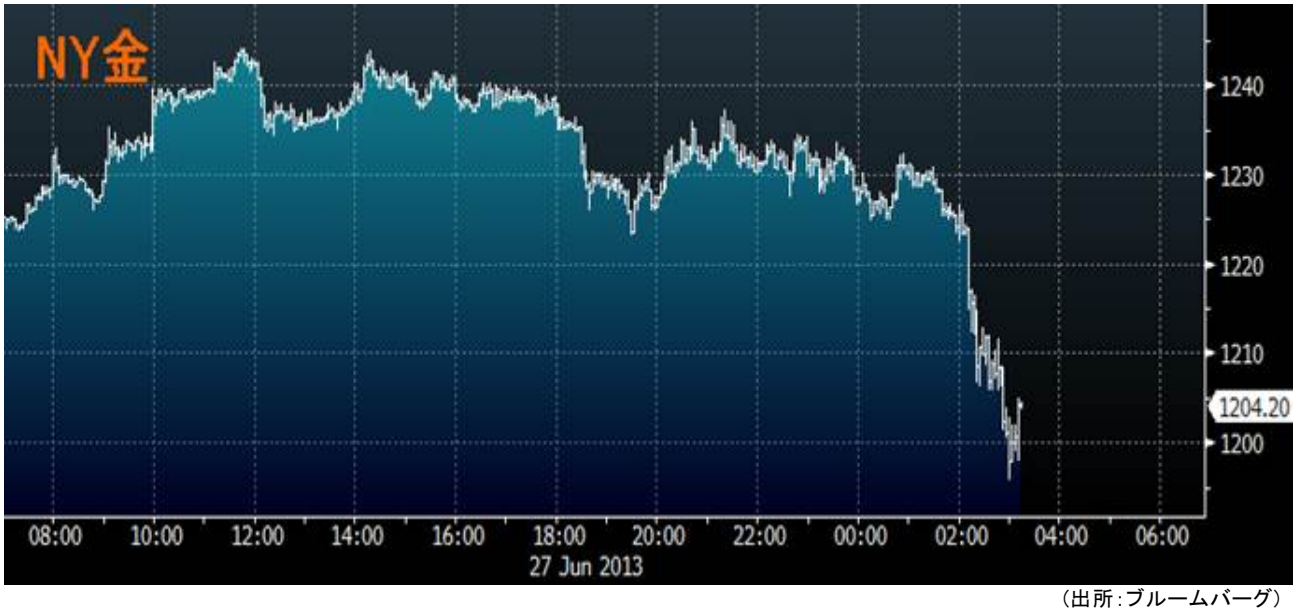
4:05
NY 原油は、中心限月が前日比 1.55 ドル高の 1 バレル＝97.05 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1211.60	-18.20
NY 原油	97.05	+1.55

(出所:ブルームバーグ)

≪ NY 金市場 ≫

NY金は、米雇用や住宅関連の経済指標が改善したことから、FRB が早期に QE3 の縮小に着手するとの観測が拡大し、緩和策の縮小でドルが上昇すればドルの代替資産とされる金の需要が弱まるとの見方から売りが 優勢となった。通常取引終了後の時間外取引で、一時 1 オンス＝1196. 10ドルまで下落し、2010 年 8 月以来、約 2 年 10ヵ月ぶりに 1200ドルの大台を割り込んだ。



（出所：ブルームバーグ）

≪ NY 原油市場 ≫

NY原油は、米失業保険申請件数が減少する一方、5 月の個人消費支出が増加したことで、米景気の回復に伴うエネルギー需要が増加するとの期待が広がり買いが優勢となった。また、欧米の株価が上昇となり、投資家のリスク志向を強めたことも支援材料となった。

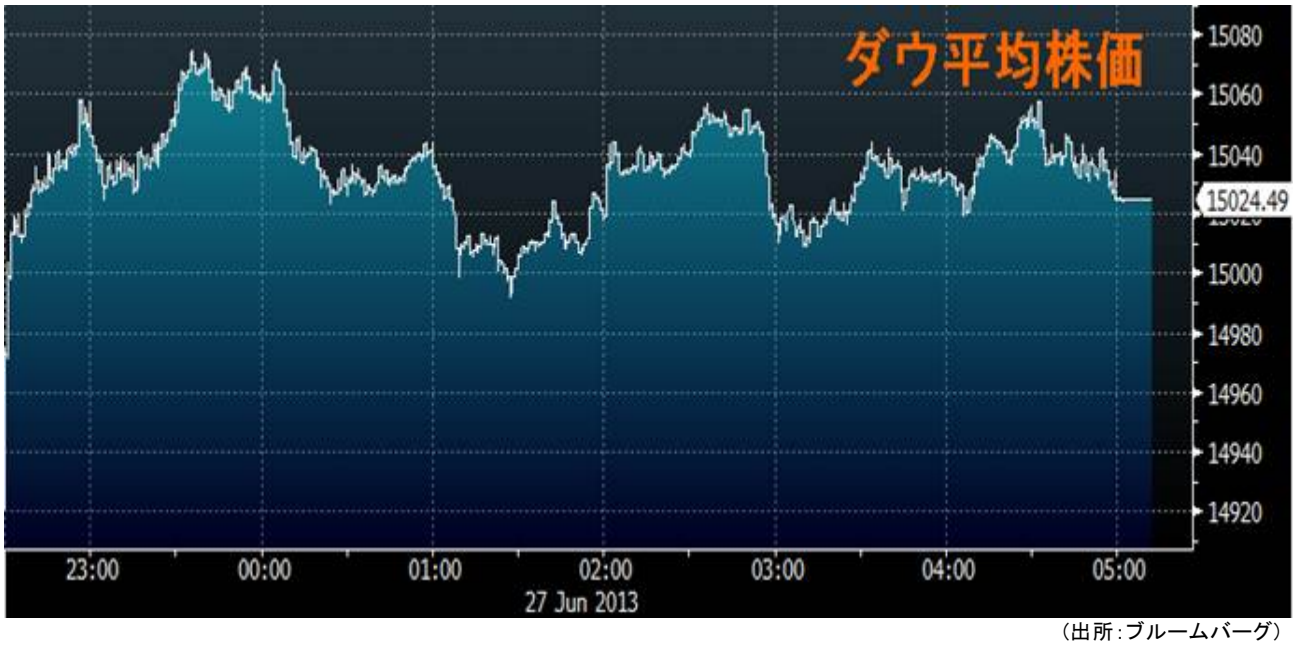
（出所：ブルームバーグ）

米主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	15024.49	+114.35	15075.01	14921.28
S&P500 種	1613.20	+9.94	1620.07	1606.44
ナスダック	3401.86	+25.64	3412.79	3395.41

（出所：ブルームバーグ）

≪米株式市場≫

米株式市場は、失業保険申請件数が前週比で減少したことを背景に、米雇用環境の改善期待が拡大し、主要株価は堅調な動きとなった。また、日経平均株価や欧州主要株価が上昇したことも支援材料となった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比 164 ドル高まで上昇する場面もあった。その後は、高値圏でのもみ合いの展開が続いた。



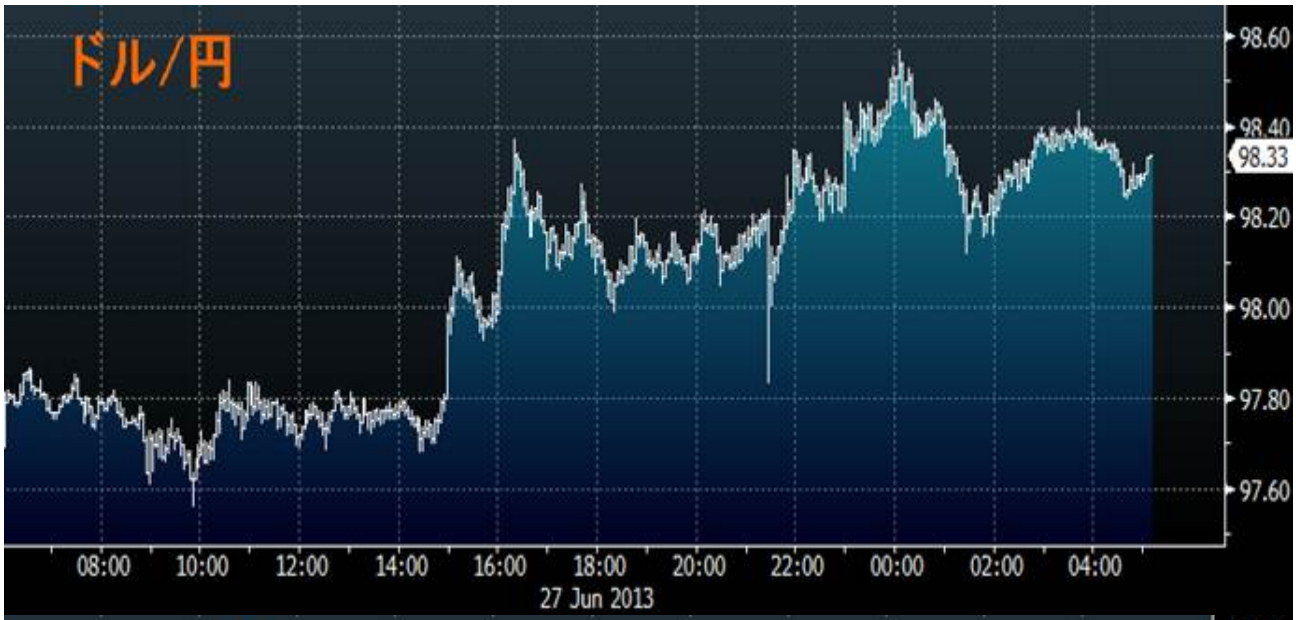
（出所：ブルームバーグ）

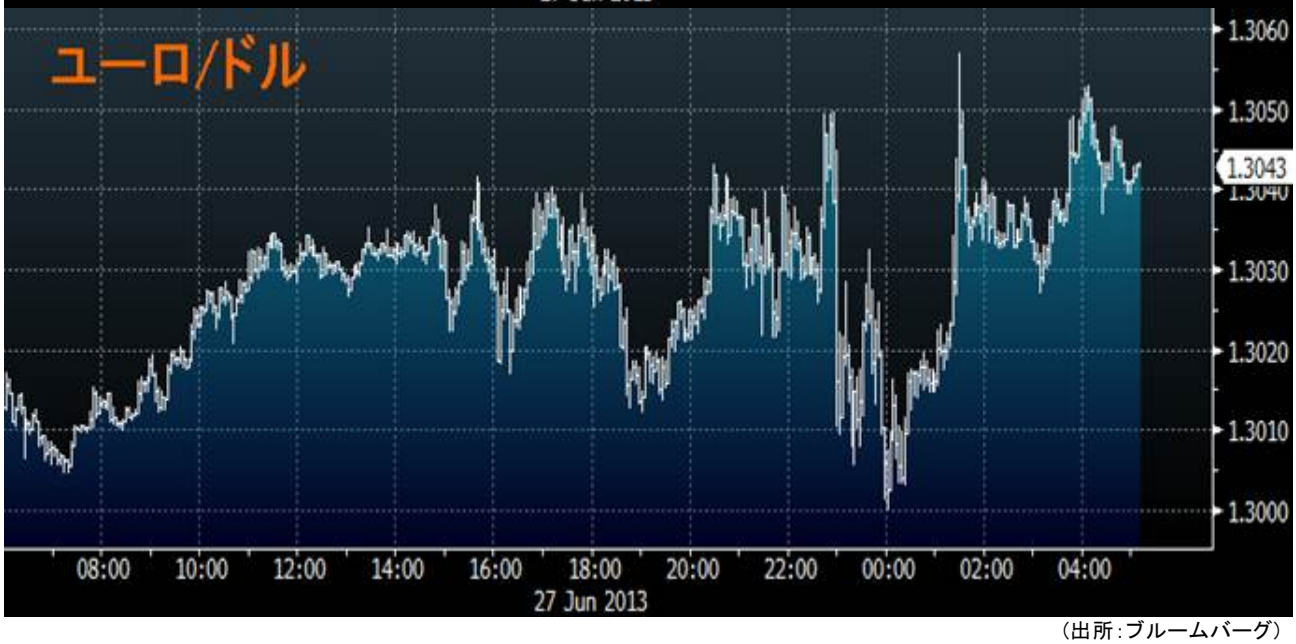
主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	98.31	98.58	97.81
EUR/JPY	128.18	128.38	127.44
GBP/JPY	150.02	150.17	149.36
AUD/JPY	91.26	91.65	91.05
NZD/JPY	76.66	77.14	76.38
EUR/USD	1.3041	1.3056	1.3000
AUD/USD	0.9284	0.9331	0.9262

（出所：ブルームバーグ）

≪外国為替市場≫

外国為替市場は、米経済指標を受けて、一時急落する場面もあったが、全般的にまずますの内容だったことや、株価が上昇したことを受けて、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ただ、終盤にはやや上値の重い動きとなった。ただ、金価格が下落したことから、豪州ドルはやや軟調な動きとなる場面もあった。





（出所：ブルームバーグ）

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社
お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、 複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。 また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。